

1. 農業経営診断予備調査書 (1-1)

(ブローラー)

(平成 年 月 日現在)

診断希望事項									
1 生産法人の概要	法人の形態	①個人経営 ②法人経営		従業員数	役員	男	人	女	人
	法人名				従業員	男	人	女	人
	所在地	〒	TEL		家族	男	人	女	人
					パート(8時間換算)	男	人	女	人
	代表者名	(年齢)			計	男	人	女	人
	営業年数	年	(うち法人化 年)	作業時間	①1日当たり平均 ②年間				
	決算日	月	日	休日数	①月 日 ②年間 日				
	集団生産	①有り ②無し		後継者	①有り ②未定 ③無し				
	認定農業者	①第1回認定日 H 年 月 ②第2回認定日 H 年 月							
	エコ・ファーマー	①認定日 H 年 月							
経営の業態	①単一経営 ②複合経営()								
2 生産部門☆該当に○印を	(1)耕 種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作		(5) 飼育法等の特色					
		④豆類作 ⑤いも類作 ⑥飼料作		① オープン方式					
		⑦工芸作物() ⑧施設野菜作		② 無窓式					
		⑨路地野菜作 ⑩果樹作							
		⑪施設花き作 ⑫露地花き作							
		⑬その他()							
	(2)畜 産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛		(6) 作業記録・日誌の有無(有りに○印)					
		④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他		① 鶏舎内作業記録					
	(3)養 蚕	①養蚕		② ワクチン接種記録					
	(4)加 工	①農産物加工(品名)		③ 抗菌性物質投与記録					
②畜産物加工(品名)		④ 品質チェック記録							
③林産加工(品名) (販売) ①朝市②直売所③インターネット④その他		⑤ 飼育・出荷記録							
3 農業経営の現状と計画	◇作目・部門名	作物面積・飼養頭数	生産量	◇ブローラー生産の課題					
	①	㎡	トン	(1) 生産部門(○印をつける)					
	②			① 鶏舎の基盤整備					
	③			② 防除内容の現地表示					
	④			③ 鶏舎の洗浄・消毒の徹底					
	経営面積合計	㎡	トン	④ 改良品種の最適化					
	◇経営耕地	地 目	面 積	⑤ 飼料等の見直し					
	①所有地	畑・水田・果樹・その他	㎡	⑥ 鳥インフルエンザ対策					
	②借入地	畑・水田・果樹・その他	㎡	⑦ その他					
	◇作業受委託	作業内容	面積等	(2) 面積					
委託・受託	①管理 ②摘採	㎡	① 所有鶏舎 m ² 棟						
4 生産方式	◆機械・施設名	形式・性能	台数・面積等	◆飼育方式の問題点					
	①給飼方式								
	②鶏舎区分								
	③鶏舎方式								
	④加工施設								
	◆農用地の現状	① a区画主体	②小ブロックに分散	③					

1. 農業経営診断予備調査書 (1-2) (ブローラー)
(平成 年 月 日現在)

5 販売関係の現状と方針	(1)消費者のニーズ把握 ①している ②していない (2)対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3)直販の場合の顧客名簿 ①有 ②無 (4)販売計画 ①有 ②無 (5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6)達成しない理由 (7)代金 ①農協経由 % ②現金 % ③その他 % (8)販売上の問題点	(10)農産物の部門別・生産量と販売額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>生産品目</th> <th>生産量(%)</th> <th>販売額(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計</td> <td>トン</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(100%)</td> <td>(100%)</td> </tr> </tbody> </table>	生産品目	生産量(%)	販売額(%)	①			②			③			④			⑤			計	トン	千円		(100%)	(100%)
	生産品目	生産量(%)	販売額(%)																							
①																										
②																										
③																										
④																										
⑤																										
計	トン	千円																								
	(100%)	(100%)																								
	(9)今後の販売方針戦略の課題	(11)流通(販売)先の割合 ①農協・市場 % ②契約 % ③スーパー・外食 % ④直販・朝市等 % ⑤インターネット・宅配 % ⑥観光 % 計 (100%)																								
6 財務会計	(1)複式簿記 (パソコン活用 有・無) (2)借入金の内訳 ①スーパー・L資金・S資金 千円 ②経営体育成強化資金 千円 ③農業近代化資金 千円 計 (3)キャッシュフロー計画 有 ・ 無 (4)計画達成 した ・ しない (5)資金繰表 有 ・ 無	(6)借入金の投資内容 (7)利益計画達成の課題																								
7 人事・労務関係	(1)人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2)家族協定書 有 ・ 無 (3)就業規則 有 ・ 無 (4)給与規定 有 ・ 無 (5)退職規定 有 ・ 無 (6)健康保険 有 ・ 無 (7)労働保険 有 ・ 無 (8)安全衛生規則 有 ・ 無	(9)経営組織図 (作業分担図)																								
各種マニュアル整備	(1)食肉品質基準管理マニュアル 有 ・ 無 (2)ブローラー衛生管理マニュアル 有 ・ 無 (3)リスク管理マニュアル 有 ・ 無 (4)施設設備管理マニュアル 有 ・ 無 (5)飼養管理マニュアル 有 ・ 無 (6)その他 有 ・ 無	※経営上の問題点(該当に○印) ①従業員の高齢化 ⑥設備の老朽化 ②担い手の減少 ⑦生産効率の低下 ③販売価格の低下 ⑧生産コストの増加 ④機械化の遅れ ⑨生産量の低下 ⑤環境リスク ⑩その他()																								

2.診断調査表(2-1)

(ブロイラー)

1.農業経営の沿革(面積・機械化の導入レベル・販売先の部門等)									
(1)経営規模の推移と内容									
(2)経営規模		①就業人数		②飼育羽数		③100羽当り経常所得			
(3)現在の経営形態		①家族 人		②雇用 人		③補助者			
(4)養鶏経営		①参加者 人		②常時雇用 人		③臨時(パート) 人			
(5)現在の経営の特色									
2.経営コンセプト(○印をつける)									
(1)食の安心・安全を基本コンセプトにしている。						①いる ②いない			
(2)販売先(納入)を決めて生産している。						①いる ②いない ③一部契約			
(3)国産銘柄鶏へのこだわりを持っている。						①いる ②いない ③一部			
(4)省力化・機械化を導入して効率化を図っている。						①いる ②いない ③まだ不充分			
(5)ISO14001・19001の導入						①いる ②いない ③検討中			
3.餌付時別ブロイラー飼育量									
餌付 年月日	飼育品種	販売条件	規格別飼育量			出荷鶏量 生体重量	規格別出荷割合		
			A級	B級	C級		A級	B級	C級
4.鶏舎新築・改築・廃棟の羽数計画									
年度	新築	羽数	改築	羽数	廃棟	羽数			
年									
年									
年									
年									
構成比		%		%		%			
5.ブロイラー品種									
(輸入など)									
ハーバード	ラミート	チャンキー	アーバーエーカー	ニューフジ	コブ				
(国産銘柄鶏・日本農林規格JAS・38種)									
会津地鶏	エーコク	久連子鶏	芝鶏	土佐九斤	養父鶏				
伊勢地鶏	熊本種	黒柏鶏	黄斑プリマスロック	土佐地鶏	宮地鶏				
岩手地鶏	沖縄髭地鶏	コーチン	軍鶏	対馬地鶏	蜀鶏				
インギー鶏	尾長鶏	声良鶏	小国鶏	名古屋種					
鳥骨鶏	河内奴鶏	薩摩鶏	矮鶏	比内鶏					
鶉矮鶏	雁鶏	佐渡髭地鶏	東天紅鶏	三河種					
ウタイチャー	岐阜地鶏	地頭鶏	ロードアイランドレッド	養父矮鶏					

2.診断調査表(2-2)

(ブロイラー)

1.鶏舎装備機械器具の状況		2.稼働率 ① 平成 年・ 回転	
		② 目標 年・ 回転	
①施設設備		②施設概要	
計量器	台	敷地面積 m ²	
人体用消毒噴霧器	台	建築面積 m ²	
スプレー用噴霧器	台	鶏舎	開放 m ²
動力噴霧器	台		無窓 m ²
ワクチンストッカー	台	事務所 m ²	
ショベルローダー	台	車庫兼機械器具庫 m ²	
ダンプカー	台	汚水槽	
自家発電機	台	井戸	
警報機	式	受水槽	
自動給餌器	台		
ガスブルーダー	台		
チェックガード	台		
丸型自動給水器	台		
幼雛用給水器	台	③ブロイラー生産費 円	
消毒用ポリ	台		
餌付け用ポリ	台		
消毒槽	台		
投薬タンク	台	④従業員 人 内常時 人	
餌付け箱	台	内臨時 人	
配餌車	台	内組合員 人	
ハイモニック	台	内組合員 人	
カーテン	台		
温水育雛機(給温システム)	台		
細霧システム	台		

3.ブロイラー飼育施設運営上の課題

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ① 従業者の高齢化 | ⑨ 機械の標準使用法の不備 |
| ② 従業者の確保難 | ⑩ 出荷時作業の改善 |
| ③ ランニングコストに見合う生産量の確保 | ⑪ ブランド・デザイン等の開発 |
| ④ 肉品質のばらつき・異常鶏の発生 | ⑫ 販売先の確保・固定客化 |
| ⑤ 作業システムの不備 | ⑬ その他 |
| ⑥ 生産工程作業のアンバランス | |
| ⑦ 生産効率・施設稼働率の低下 | |
| ⑧ 品質査定基準運用の不備 | |

3. 診 断 調 査 表

(ブロイラー)

4.販売・受注状況・販売活動の特色(消費者交流など)

品質 (輸入)	販売先	受注(契約など)
A級	%	%
B級	%	%
C級	%	%
(銘柄鶏)	%	%
A級	%	%
B級	%	%
C級	%	%

5.生産・技術・設備上の問題点

6.ブロイラー飼育・作業技術上の問題点

7.労務状況と運営上の問題点

4.ブロイラー100羽当り売上高・売上原価比較 (4-1)

(ブロイラー)

(単位:円)

		ア 全国平均 (100羽当り)	ア' 全国平均×10 (1000羽当り)	イ 県平均	ウ 年度実績	エ 年度実績	オ 年度実績	カ (オ÷イ)
売上高	肉鶏販売収入	51,380	513,800					
	鶏糞販売収入	40	400					
	その他	4,169	41,690					
	計	55,589	555,890					
生産費項目								
売上原価	もとびな費	8,261	82,610					
	購入飼料費	31,061	310,610					
	労働費							
	雇用	632	6,320					
	家族	5,552	55,520					
	診療・医薬品費	942	9,420					
	電力・水道費	1,144	11,440					
	燃料費	902	9,020					
	減価償却費							
	建物・構築費	650	6,500					
	機器具・車両	663	6,630					
	修繕費	632	6,320					
	小農具費	192	1,920					
	消耗諸材料費	156	1,560					
	賃金料金その他	360	3,600					
	生産費用合計	51,147	511,470					
	販売費・一般管理費	2,351	23,510					
	営業外収益	1,225	12,250					
	営業外費用							
	支払利息	290	2,900					
	支払地代	68	680					
	その他	295	2,950					
	その他費用合計	1,779	17,790					

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.3肉用鶏畜産経営診断全国集計より

4. 収益と費用調査表(4-2)

(単位: kg、円、%)

項 目			県指標A	出荷1000羽当りB	摘 要	H 年度実績C	H 年度実績D	D/A×100	
粗 収 益	生産量			2,970					
	販売単価			150					
	生産額			445,500					
	副産物収入			5,713					
	合 計			451,213	①				
経 営 費	変 動 費	直 接 生 産 費	素畜費	54,060					
			飼料費	200,290					
			自給飼料費	0					
			衛生費・種付費	7,900					
			光熱動力費	20,000					
			諸材料費	3,950					
			小農具費	0					
			賃料料金	0					
			雇用労賃	9,922					
			その他	2,124					
			計	298,246					
	出 荷 経 費	資材費	12,000						
		運賃	5,960						
		手数料	65,000						
		その他	0						
		計	82,960						
	小 計			381,206					
	固 定 費	減価償却費		32,649					
		成園費・成畜費		0					
		借地料		0					
		修繕費		9,318					
		その他		0					
		小 計		41,967					
	合 計			423,173	②				
成 果	農業所得			28,040	③＝①－②				
	所 得 率			6.2%	③÷①				
	家族労働1時間当たり所得			5,563	③÷T(円/時間)				
家族労働見積額			9,072						
自己資本利子見積額			3,932						
自己地代見積額			0						
生産費(全額参入生産費)			436,177	④					
利潤			15,036	⑤＝①－④					
利潤率			3.3%	⑤÷①					
総労働時間(時間)			10						
家族労働時間			5	T					
雇用労働時間			5						
損益分岐点生産額(円)									
損益分岐点生産量(kg)									
損益分岐点安全率									

(注) 出荷1000羽当りの基準値は静岡県農水部のモデル値

5.ブロイラー1000羽当り労働時間比較表

(単位:時間)

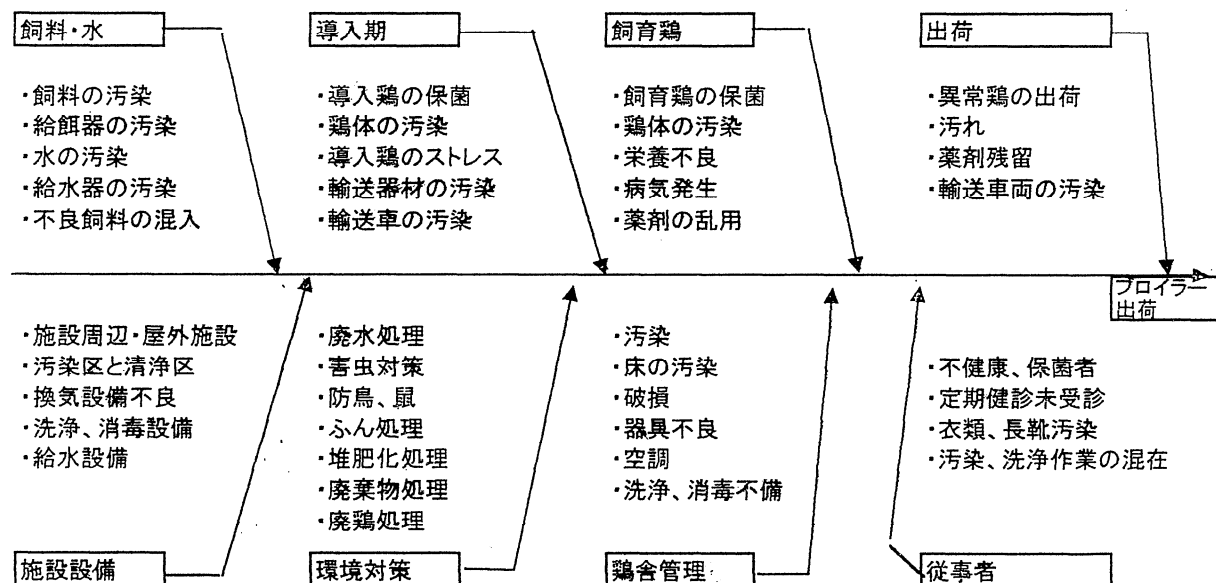
作業名	月												合 計	基準値
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
飼育管理(1号鶏舎)														16.8
飼育管理(2号鶏舎)														16.8
捕鳥作業(1号鶏舎)														4
捕鳥作業(2号鶏舎)														4
出荷作業(1号鶏舎)														1.2
出荷作業(2号鶏舎)														1.2
除糞・鶏舎洗浄作業														5.6
鶏舎消毒作業														5.6
雛導入準備														5.6
その他作業(除草等)														1.4
たい肥化処理作業														2.52
管理・営業														10
合 計 (うち雇用時間)														74.72

6.ブロイラーの生産工程と評価表

ブロイラーの生産工程		作業工程	危害	現状評価
① 鶏舎の洗浄・消毒	消毒薬等	予備消毒、器具・堆積物の排出、鶏舎周辺整備、点検、水洗、本消毒、乾燥、石灰消毒、敷料搬入	サルモネラの汚染	
② 敷料・器具の搬入	敷料等消毒←保管←輸送←敷料・器具			
③ 衛生害虫の駆除	消毒薬等		サルモネラの汚染	
④ 素雞の搬入	輸送←素雞	従事者の衛生管理	輸送ストレス	
⑤ 飼育		健康チェック、薬剤投与、環境チェック、飼料搬入・保管・給与、飲水給与、鼠・衛生害虫の駆除、従事者の衛生管理	サルモネラの汚染	
⑥ 異常鶏の排除			感染の拡大	
⑦ ワクチン接種	ワクチン		疾病の発生	
⑧ 抗菌性物質の投与	抗菌性物質		抗菌性物質の残留	
⑨ 温湿度の管理				
⑩ 給餌	保管←輸送←飼料			
⑪ 給水	水			
⑫ 衛生害虫の駆除	消毒薬等			
⑬ 飼料の給与停止		出荷鶏の健康チェック、出荷カゴの洗浄・消毒		
⑭ 出荷カゴの搬入	洗浄←消毒←出荷カゴ			
⑮ 補鳥				
⑯ 異常鶏の淘汰			サルモネラの汚染	
⑰ 出荷			サルモネラの汚染 抗菌性物質の残留	

(注)現状評価は○△×を記入

危害特性要因図(該当項目に○印をつける)



(資料出所:衛生管理ガイドライン)

7.週齢別育成率と発育体重・飼料給与量比較表(一羽当り)

		週	1	2	3	4	5	6	7	8	年平均
週齡別育成率		中畜基準指数参考数値	99.2%	98.8%	98.4%	98.1%	97.8%	97.5%	96.8%	96.2%	96.20%
		中畜目標指数参考数値	99.2%	98.8%	98.4%	98.1%	97.8%	97.5%	96.8%	96.2%	
		実績値									
週齡別体重		中畜基準指数参考数値 ♂	143g	346g	643g	1,005g	1,497g	1,989g	2,481g	2,973g	2,973g
		中畜基準指数参考数値 ♀	135g	314g	589g	865g	1,250g	1,635g	2,020g	2,405g	2,405g
		中畜基準指数参考数値平均	139g	330g	616g	935g	1,373g	1,812g	2,250g	2,689g	2,689g
		中畜目標指数参考数値 ♂	146g	354g	659g	1,030g	1,534g	2,38g	2,542g	3,046g	
		中畜目標指数参考数値 ♀	138g	322g	604g	887g	1,281g	1,676g	2,071g	2,465g	
		中畜目標指数参考数値平均	142g	338g	631g	958g	1,407g	1,857g	2,306g	2,755g	
		実績値 ♂									
		実績値 ♀									
		実績値 平均									
飼料給与量 (g)	開放鶏舎	中畜基準指数 累計週間	136	405 269	829 424	1,447 618	2,380 933	3,461 1,081	4,714 1,253	6,095 1,381	
		中畜基準指数 累計週間	128	386 258	795 409	1,280 485	2,050 770	2,943 893	3,979 1,036	5,123 1,144	
		中畜基準指数 累計週間	132	396 264	812 416	1,364 552	2,215 851	3,202 987	4,347 1,145	5,609 1,262	
		実績値 累計週間									
		実績値 累計週間									
		実績値 累計週間									
	無窓鶏舎	中畜基準指数 累計週間	136	405 269	829 425	1,427 598	2,335 908	3,401 1,066	4,615 1,214	5,976 1,361	
		中畜基準指数 累計週間	128	386 258	795 409	1,272 477	2,013 741	2,894 881	3,899 1,005	5,026 1,127	
		中畜基準指数 累計週間	132	396 263	812 417	1,350 538	2,174 824	3,148 974	4,257 1,109	5,501 1,244	
		実績値 累計週間									
		実績値 累計週間									
		実績値 累計週間									

ブロイラーの餌付・中抜・最終出荷回転数

	前年度餌付分	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月
実績	鶏舎回転数	餌付から次回餌付までの日数合計(年度内出荷鶏について合計する)	日÷年間日数 日=平均回転数 回									

標準指数(基準)値

		労働力一人当たり		総労働時間		飼育管理労働時間	
		年 間 出荷羽数	年 間 出荷重量	出荷100羽 当 り	出荷重量 1,000kg当り	出荷100羽 当 り	出荷重量 1,000kg当り
標準 指数	開放 鶏舎	80,000羽	217,000kg	2,73h	10,17h	1,90h	7,11h
	無窓 鶏舎	96,000	243,000	2,29	9,05	1,52	6,00
年度 実績	開放 鶏舎						
	無窓 鶏舎						
年度 実績	開放 鶏舎						
	無窓 鶏舎						

※「ブロイラー経営の経営改善指導指標」 中央畜産会より抜粋

8.100羽当り収益性評価

収益性諸要因分析(ブロイラー100羽当)

		ア 全国平均	ア' 全国平均 ×10 (1000羽当)	イ 県平均	ウ 年度実績	エ 年度実績	オ 年度実績	カ (オ÷ア)
100羽当出荷時平均生体体重	kg	302.4	-					
生体換算1kg当販売単価	円	169	-					
出荷100羽当素雛費	円	8,261	82,610					
生育率	%	96	-					
出荷100羽当飼料費	円	31,061	310,610					
飼料要求率	%	2.2	-					
年間出荷回転率	%	6.3	-					
平均飼育日数	日	59.0	-					

収益性諸要因分析(ブロイラー100羽当)

		ア 全国平均	ア' 全国平均 ×10 (1000羽当)	イ 県平均	ウ 年度実績	エ 年度実績	オ 年度実績	カ (オ÷ア)
家族労働者一人当たり年間経常所得千円		4,297	-					
平均飼養羽数100羽当年間経常所得	円	49,088	490,880					
出荷100羽当販売価格	円	51,380	513,800					
労働者一人当平均飼育羽数	羽	9,112	-					
労働者一人当年間出荷羽数	羽	57,794	-					
出荷100羽労働時間	時間	5.2	-					
雇用依存率	%	13.9	-					
所得率	%	14.8	-					
鶏舎1㎡当年間所得	円	4,441	-					
鶏舎1㎡当年間出荷羽数	羽	70.7	-					
売上高経常利益率	%	4.8	-					

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.2肉用鶏畜産経営診断全国集計より

9.ブロイラー養鶏経営診断比較表(全国平均) 経営収支の総括(9-1)

区分		基準値			経営体	比較値
		平均(経営全体)A	1000羽 B	3,000羽以上		
集計戸数		59		54		
農業	粗収益	68,472		72,068		
	経営費	62,799		66,121		
	所得	5,673		5,947		
農業生産関連事業	収入	—		—		
	支出	—		—		
	所得	—		—		
農外	収入	692		733		
	支出	130		140		
	所得	562		593		
年金等の収入		404		347		
総所得		6,639		6,887		
租税公課諸負担		1,143		1,203		
可処分所得		5,496		5,684		
金(参考)等を除く共済・農業・収補助	農業粗収益	67,351		70,885		
	農業経営費	62,501		65,806		
	農業所得	4,850		5,079		
区分		1		2		

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.3肉用鶏畜産経営診断全国集計より

9.ブロイラー養鶏経営診断比較表(全国平均) 分析指標(9-2)

1000羽のデータ
がない場合
3000羽/3を適用

(単位: 千円)

区分	基準値			経営体 H 年 C 1000羽当り	比較値 C/B×100
	平均(経営全体)A	1000羽 B	3,000羽以上		
付加価値率(%)	9.8%		9.8%		
農業固定資産装備率(円)	2,636		2,686		
収 益 性	農業経営関与者 一人 当たり農業所得(千円)	2,676	2,779		
	農業経営関与者 一人 当たり総所得(千円)	3,132	3,218		
	農業専従者 一人当 たり農業所得(千円)	4,081	4,046		
	家族農業労働一時間 当たり農業所得(円)	1,708	1,741		
	農業固定資産千円当 たり農業所得(円)	531	529		
	ブロイラー一万羽当 たり農業所得(千円)	384	381		
(付 加 生 産 性 額)	自営農業労働一時間 当たり(円)	1,658	1,683		
	農業固定資産千円当 たり(円)	629	627		
	ブロイラー一万羽当 たり(千円)	455	452		
(部 門 生 産 性 収 入)	ブロイラー一万羽当 たり(千円)	-	-		
	ブロイラー養鶏部門 労働一時間当たり (円)	-	-		
(部 門 生 産 性 所 得)	ブロイラー一万羽当 たり(千円)	-	-		
	ブロイラー養鶏部門 家族労働一時間当た り(円)	-	-		
区 分	1		2		

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.3肉用鶏畜産経営診断全国集計より

9.ブロイラー養鶏経営診断比較表(全国平均) 経営の概要(9-3)

区分	基準値			経営体 H 年 C 1000羽当り	比較値 C/B×100
	平均(経営全体)A	1000羽 B	3,000羽以上		
経営耕地面積(a)	67		68		
借入地(a)	6		6		
自営農業労働時間 (時間)	4,052		4,189		
家族(結い・手間替 受け含む)(時間)	3,322		3,416		
農業固定資産額(土地を除く) (千円)	10,681		11,250		
年末借入金・買掛 未払金残高 (千円)	14,313		15,009		
農業負担分(千 円)	13,424		14,060		
ブロイラー販売額(羽)	147,620		155,891		
農業粗 収益	合計(千円)	68,472	72,068		
	作物収入(千円)	413	409		
	畜産収入(千円)	66,743	70,269		
	ブロイラー(千円)	66,409	69,918		
	その他(千円)	1,316	1,390		
	共済・補助金等受取額 (千円)	1,121	1,183		
農業現金収入(千円)	70,036		73,750		
区 分	1		2		

1000羽のデータ
がない場合
3000羽/3を適用

(単位: 千円)

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.3肉用鶏畜産経営診断全国集計より

9.ブロイラー養鶏経営診断比較表(全国平均) 農業経営費(9-4)

区分	基準値			経営体	比較値
	平均(経営全体)A	1000羽 B	3,000羽以上	H 年 C 1000羽当り	C/B × 100
動物	10,583		11,117		
飼料	41,288		43,482		
農業薬剤・医薬品	1,434		1,516		
光熱動力	2,244		2,357		
農機具・農用自動車	1,148		1,202		
農用建物	1,088		1,157		
賃借料	1,783		1,891		
作業委託料	411		438		
その他	1,968		2,062		
共済等の掛金・ 拠出金	298		315		
農業現金支出	61,762		65,020		
減価償却費	1,036		1,099		
区 分	1		2		

1000羽のデータ
がない場合
3000羽/3を適用

(単位: 千円)

※全国平均値は中央畜産会2001.4-2002.3肉用鶏畜産経営診断全国集計より

10.現在考えている経営の成長目標

(該当する項目に記入)

(ブロイラー)

1.中期目標(H 年)「特色のある〇〇自慢のブロイラー生産体制の確立」→新品種の開発・独自の風味			
項目		平成17年 現在	平成21年 目標
① 生産	鶏舎面積(棟数)	m ²	m ²
	ブロイラー生産量	羽	羽
② 機械化管理	機械化導入予定		
③ 品質改善予定			
④ ブロイラー生産費	100羽当り	円	円
⑤ 銘柄鶏飼育			
⑥ 環境対応			
2.目標達成のための戦略			
(1) 経営規模拡大による目標生産量の確保手段			
①生産会員への生産技術指導の強化 ⑥生産技術研修の実施 ②規模拡大に向けた協力者の確保 ⑦新品種の開発 ③機械化と生産基盤の整備推進 ⑧研究機関との連携 ④ブロイラーの効率的飼育技術の習得 ⑨先進地視察 ⑤出荷体制の強化 ⑩各種マニュアルの整備 ⑪流通チャネルの再構築			
(2) 複合経営の推進			
①ブロイラーの加工食品づくり→ヘルシー志向、高齢化対応 ②直販所の開設 平成 年 ③その他			
(3) マーケティング志向に対応する産品づくり			
①消費者ニーズに即した安全・安心な特色ある商品作り		%	OK
②直販所の開設		%	OK
(4) 技術革新			
①省力化 ②飼育方法 ③作業工程 ④加工部門 ⑤その他			
(5) 販売方法		(6) 資本金・運営資金の調達	
①方針の転換		①使途	
②流通チャネルの見直し		②調達先	
(7) 組織体制の見直し		(8) 雇用と労務環境の整備	
		①労働時間	
		②労働条件	